

# 北陸4大学連携まちなかセミナー

「北陸発のふるさと探訪」

## 北陸の信仰

日時 11月15日(土) 14:00~16:30

会場 富山駅前 CiCビル3階 学習室  
(富山市新富町1-2-3)

講師 平瀬 直樹  
(金沢大学 人間社会研究域 歴史言語文化学系 准教授)  
「中世北陸における地域と宗教者  
-根付く生き方, つなぐ力-」

松浦 義則  
(福井大学 教育地域科学部 社会系教育講座 教授)  
「中世北陸における白山信仰」

### お問合せ

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門  
☎076-445-6956 ☎076-445-6033

富山会場

立山連峰

## 雪を科学する

日時 11月8日(土) 14:00~16:30

会場 金沢大学地域連携推進センター  
(金沢市角間町)

講師 永井 二郎  
(福井大学 大学院工学研究科 准教授)  
「地熱・太陽熱を利用した融雪技術」

対馬 勝年  
(富山大学 名誉教授 客員教授)  
「高速スケートリンクと雪発電」

### お問合せ

金沢大学 地域連携推進センター  
☎076-264-5272~3 ☎076-234-4045

金沢会場

兼六園

## 北陸の環境

日時 11月1日(土) 14:00~16:30

会場 福井大学アカデミーホール  
(福井市文京3-9-1)

講師 中村 省吾  
(富山大学 大学院理工学研究部 教授)  
「北陸(富山湾)の海洋環境の保全を目指して」

神谷 隆宏  
(金沢大学 理工研究域 自然システム学系 教授)  
「北陸の古環境」

### お問合せ

福井大学 地域貢献推進センター  
☎0776-27-8060 ☎0776-27-8878

福井会場

東尋坊

北陸発、知的探求の旅。  
この秋、北陸3県にて実施。

大学とは何をすることでしょ  
うか？教育、研究、それだけでは  
ありません。地域の皆さんの多様な  
生涯学習ニーズに応えることも大  
学の大事な使命です。富山大学、  
金沢大学、福井大学、北陸先端科  
学技術大学院大学共催で、「知」  
との出会いの場を提供す  
ることになりました。

入場無料

北陸  
4大学  
連携

# まちなかセミナー

## 北陸発のふ・る・さ・と探訪

会場・テーマ・日時・講演内容等

開催日順

福井会場

福井大学  
アカデミーホール  
(福井市文京3-9-1)

日時 平成20年11月1日(土) 14:00~16:30

テーマ 『北陸の環境』

講演 1 「北陸(富山湾)の海洋環境の保全を目指して」

講師: 中村 省吾 (富山大学 大学院理工学研究部 教授)

北陸が面する日本海は、その平均水深に比べて出入口となる海峡の水深が非常に浅いため、巨大な池(半閉鎖的な海域)と捉えられます。したがって、この日本海で汚染が生じると、その浄化が大変困難になることが予想されます。一方で、様々な汚染物質が環境中に漏出する可能性があり、それらの生物への影響も複合的になることが考えられます。そこで今回は、北陸の海洋環境の保全を目指して私たちが研究を行っている、生物を用いて汚染物質を総合的に捉える方法や、汚染環境を浄化する方法についてご紹介します。

講演 2 「北陸の古環境」

講師: 神谷 隆宏 (金沢大学 理工研究域 自然システム学系 教授)

昨今のゲリラ豪雨やクラゲの大量発生など、地球温暖化を悪者にして語られる異常事象には事欠きません。しかし、地球の長い歴史の中には、様々な度合いの温暖化や寒冷化があったことがわかってきています。この講演会では、大昔の気候を明らかにする方法や、様々な時代に現れた気候変動の様子を、北陸の地層に残る記録を中心に紹介します。1万年前、10万年前、100万年前、1億年前の北陸や日本海がどんな陸地や海だったのか、想像をはべらせていただけたら幸いです。

金沢会場

金沢大学  
地域連携推進センター  
(金沢市角間町)

日時 平成20年11月8日(土) 14:00~16:30

テーマ 『雪を科学する』

講演 1 「地熱・太陽熱を利用した融雪技術」

講師: 永井 二郎 (福井大学 大学院工学研究科 准教授)

地下数十mまでの地熱や太陽熱を利用して、駐車場や橋路面の融雪を行う技術を紹介いたします。地下水を散水しないので地盤沈下の心配が無く、電気や燃料をほとんど消費しないので運転コストは非常に安く、総合的に見て環境に優しい技術となっています。これまでの開発の経緯や導入事例を紹介しながら、北陸地方の融雪の将来についてご参加の皆様と考えたいと思います。

講演 2 「高速スケートリンクと雪発電」

講師: 対馬 勝年 (富山大学 名誉教授 客員教授)

スケートやスキーは大変よく滑ります。しかし、なぜ氷や雪の上でよく滑るのかという単純な問題を人類は一世紀以上に渡って考え続けてきました。さまざまな学説が出されましたが、真理を探究する上で既存の知識や先入観が障害となった事例も示します。雪発電では雪と地熱などを組み合わせて活用する熱サイホン発電の原理と装置を示します。邪魔もの扱いされる雪はクリーンで再生可能な資源でもあります。雪の利用を通して、資源とは何かを考えます。

富山会場

富山駅前  
CiCビル3階 学習室  
(富山市新富町1-2-3)

日時 平成20年11月15日(土) 14:00~16:30

テーマ 『北陸の信仰』

講演 1 「中世北陸における地域と宗教者-根付く生き方、つなぐ力-」

講師: 平瀬 直樹 (金沢大学 人間社会研究域 歴史言語文化学系 准教授)

一向一揆以前においても宗教者たちは地域の多様な階層の現実的要求に応えようとしていました。今回は、中世前期(平安後期から鎌倉末期)を中心として、地域に根付いた加賀白山の宗教者、北陸を渡り歩く時衆の聖(ひじり)、そして、日本海の流通で活躍する日吉神人(ひえじにん)といった人々の活動を紹介したいと思います。

講演 2 「中世北陸における白山信仰」

講師: 松浦 義則 (福井大学 教育地域科学部 社会系教育講座 教授)

泰澄が開いたとされる白山に対する信仰は中世においては越前・美濃から越中西部に広がっていた。泰澄伝承の性格について触れたのち、白山信仰の越前・加賀・美濃の拠点(馬場)を説明し、白山信仰がそれぞれの国で持っていた影響力について考えてみたい。さらに白山勢力と結んで平家と戦った北陸武士団斎藤氏の活動や、鎌倉時代の北陸道修験の様子を示す砺波郡石黒荘柿谷寺についても述べてみたい。

その他 (1) 事前の申し込みは必要ありませんが資料の準備等の関係から、参加ご希望の際は、表面の問合せ先に電話、FAX等で、その旨ご一報いただけますと幸いです。  
(2) なるべくバス、電車等の公共交通機関をご利用くださるようお願いいたします。